

# CentreCOM<sup>®</sup> LM33-PCM-T

## 取扱説明書・Windows<sup>®</sup>98編 アライドテレシス(株)

この度は、「CentreCOM LM33-PCM-T」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品をWindows98のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。



注意

Windows98では、本製品の**モデム機能とネットワークアダプター機能を同時に使用することはできません**。あらかじめご了承ください。詳細は、「6 Windows98での制限事項」をご覧ください。



注意

この取扱説明書に記載の内容は、Windows98の事前評価版をもとに作成されています。そのため、手順などが正式版のWindows98におけるものとは異なっている可能性があります。あらかじめご了承ください。



注意

ここに挙げる手順は一例であり、お客様の環境によっては画面表示や手順が異なることがあります。本書の画面例はAT互換機のもので、PC-9800/9821の場合は**ドライブ名などが異なりますのでご注意ください**。なお本書では、フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROMの各ドライブ名を、AT互換機では「A:」、「C:」、「D:」、PC-9800/9821では「B:」、「A:」、「Q:」と仮定しています。

3.3	PCMCIAコントローラが正しく表示されない	11
3.4	リソース値重複の回避	12
4	ネットワーク機能のトラブル	12
4.1	LINK LEDは点灯していますか?	12
4.2	LINK LEDは点灯しているが...	13
4.3	モデム機能を同時に使用していませんか? ....	13
4.4	ハードウェア診断プログラムご使用上の注意	13
5	モデム機能のトラブル	13
5.1	ネットワーク機能を同時に使用していませんか?	13
5.2	その他のトラブル	13
5.3	モデムのテスト機能	14
6	Windows98での制限事項	14

## 1 Windows98へのインストール

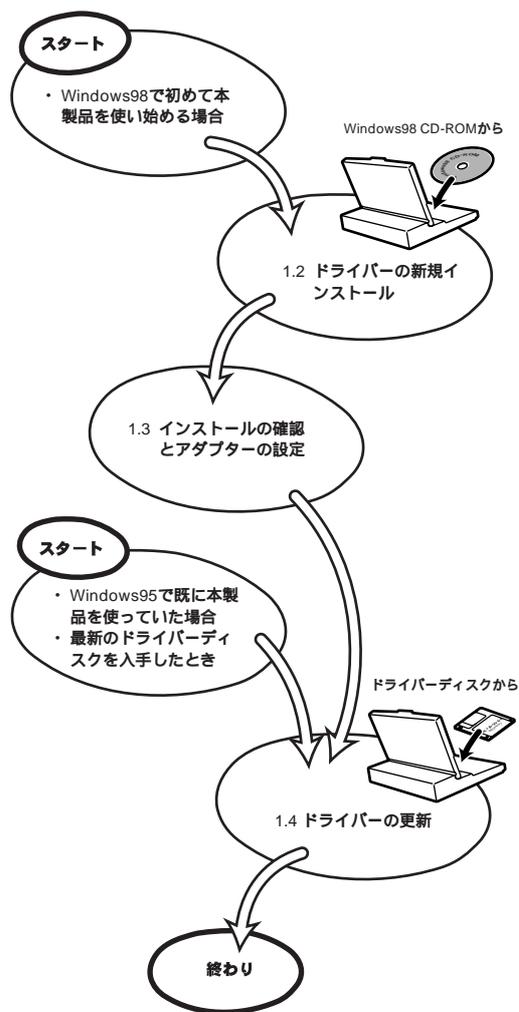
本製品のドライバーをWindows98にインストールする手順は、お客様の環境によって異なります。次ページの図を参考にして、正しい手順でインストールを行ってください。

Windows98で初めて本製品を使い始める場合(例えば、次に挙げるような場合)は、まず「1.2 **ドライバーの新規インストール**」を実行し、次に「1.3 **インストールの確認とアダプターの設定**」にしたがってインストールの確認を行った後、「1.4 **ドライバーの更新**」に進んでください。

- 新規インストールしたWindows98に本製品のドライバーをインストールする場合
- プリインストール版Windows98に本製品のドライバーをインストールする場合
- Windows95からWindows98にアップグレードしたが、Windows95では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows98で初めて本製品を使い始める場合

新規インストールでは、Windows98のCD-ROMから本製品のドライバーをインストールします。Windows98のCD-ROMに収録されている本製品のドライバーは初期バージョンです。これをそのまま使用することも可能ですが、最新ドライバーへの更新をおすすめします。

1	Windows98へのインストール	1
1.1	用意するもの	2
1.2	ドライバーの新規インストール	2
1.3	インストールの確認とアダプターの設定	3
1.4	ドライバーの更新	6
2	活線挿抜に関するご注意	9
2.1	PCカードの挿入	9
2.2	PCカードの取り外し	9
3	ドライバーのトラブル	10
3.1	本製品を認識しない	10
3.2	デバイスマネージャで「x」マークが付く	11



また次のような場合は、「1.4 ドライバーの更新」で述べる手順にしたがってドライバーの更新を行ってください。

- すでにWindows95で本製品を使用している状態からWindows98にアップグレードした場合(次の注を参照)
- 弊社のホームページ([http://www.allied-tele-sis.co.jp/](http://www.allied-telesis.co.jp/))などから最新のドライバーを入手した場合



この場合、Windows98へのアップグレード時に、Windows98のCD-ROMから本製品のドライバーが自動的にインストールされます。Windows98のCD-ROMに収録されている本製品のドライバーは初期バージョンです。これをそのまま使用することも可能ですが、最新ドライバーへの更新をおすすめします。

## 1.1 用意するもの

- LM33-PCM-Tアダプター、メディアモジュールなど
- コンピュータ(Windows98インストール済み)
- 本製品付属のドライバーディスク
- Windows98のCD-ROM



警告

Windows98が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたものの、すなわち**プリインストール版**である場合は、Windows98のバックアップCD-ROMが付属しているかどうかをご確認ください。バックアップCD-ROMが付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクにWindows98のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

## 1.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーをWindows98に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにモデムやネットワークアダプター用のドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。本製品のドライバーは、Windows98のCD-ROMからインストールされます。本製品のドライバーは、いったんインストールを完了するとその内容がシステムに保存されます。そのため、次回からはコンピュータのPCカードスロットに挿入するだけで、本製品をご使用になれます。

- (1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けていない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98を起動してください。
- (2) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入してください。
- (3) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (4) Windows98によって本製品が検出され、「新しいハードウェア」ダイアログが表示されます。本製品は「マルチファンクションアダプタ」(図1.2.1～図1.2.2)として検出されたのち、モデム部分(図1.2.3～図1.2.4)とネットワークアダプター部分(図1.2.5～図1.2.6)が認識されます。これら一連のダイアログの表示に伴い、本製品を使用するために必要なファイルのインストールが自動的に開始されます。

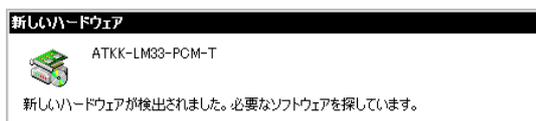


図1.2.1

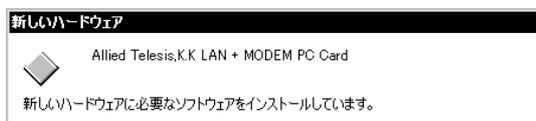


図1.2.2

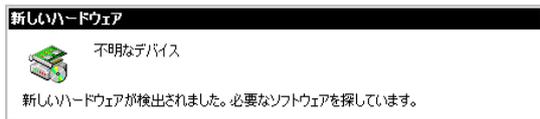


図1.2.3

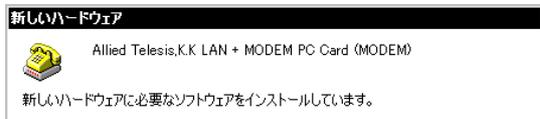


図1.2.4

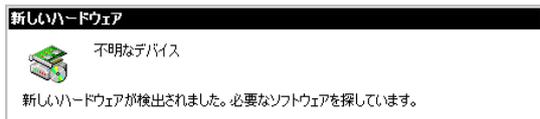


図1.2.5

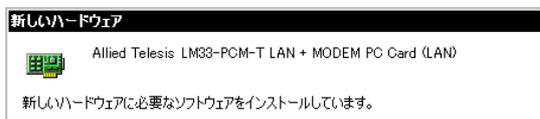


図1.2.6

- (5) 次のダイアログが表示されたら、CD-ROMドライブにWindows 98のCD-ROMが正しく挿入されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

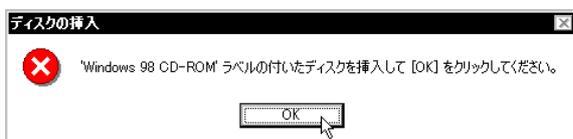


図1.2.7

次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」(PC-9800/9821では「Q:¥WIN98N」と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

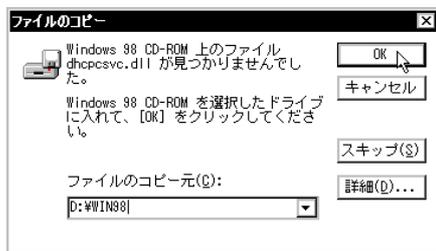


図1.2.8

- (6) Windows 98のCD-ROMからファイルがコピーされます。コピーが完了したら、再起動を促すダイアログが表示されるか否かにかかわらず、いったんWindows 98を終了し、コンピュータを再起動してください。



注意

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になる場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。

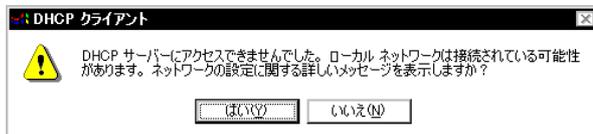


図1.2.9

- (7) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「1.3 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

### 1.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

#### 1. デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



図1.3.1

- (2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「PCMCIAソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされているPCMCIAコントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」、「マルチファンクションアダプタ」、「モデム」の下に、それぞれ「Allied Telesis LM33-PCM-T LAN + MODEM PC Card (LAN)」、「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」、「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card (MODEM)」が表示されます。



図1.3.2



図1.3.4 デバイスの状態 (ネットワークアダプタ)



図1.3.3



図1.3.5 デバイスの状態 (マルチファンクションアダプタ)

 PCMCIAコントローラの名前は、ご使用のコンピュータ機種によって異なります。前記のダイアログは一例です。

本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークが付いたり、アイコンが「ネットワークアダプタ」、「マルチファンクションアダプタ」、「モデム」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。詳しくは、「3 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

- (3) 本製品のアイコンを選択 (反転表示) し、「プロパティ」→「全般」と進みます。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図1.3.6 デバイスの状態 (モデム)

- (4) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト(IRQ)などは、Windows98によって自動的に設定されます。これらの設定を確認するには、「リソース」タブをクリックしてください。



図1.3.7 リソースの確認 (ネットワークアダプタ)



図1.3.8 リソースの確認 (マルチファンクションアダプタ)



図1.3.9 リソースの確認 (モデム)

## 2. PCカード(PCMCIA)による確認

「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」が表示されていることを確認してください。



図1.3.10 ソケットの状態

## 3. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。図1.3.11はあくまでも設定例です。設定に関する詳細は、Windows98のネットワークの設定に関する参考書を参照していただくか、システム管理者にご確認ください。



図1.3.11 ネットワークの設定

#### 4. モデムの設定

「コントロールパネル」の「モデム」をダブルクリックし、通信速度、パリティ等の設定を行います。モデムをインストールするのが今回初めての場合は、最初に「所在地情報」ダイアログが表示されるので、「国/地域番号」、「市外局番」、「外線発信番号」等を設定して、「OK」ボタンをクリックしてください。続いて、「モデムのプロパティ」ダイアログが表示されます。必要な設定を終えたら、「OK」ボタンをクリックしてください。次の図 1.3.12 と図 1.3.13 はあくまでも設定例です。モデムの設定に関する詳細は、「CentreCOM LM33-PCM-T ユーザーズマニュアル」の「第 4 部 モデム機能(基礎編)」の 2.5～2.6 項を参照していただくか、システム管理者にご相談ください。



図 1.3.12 所在地情報

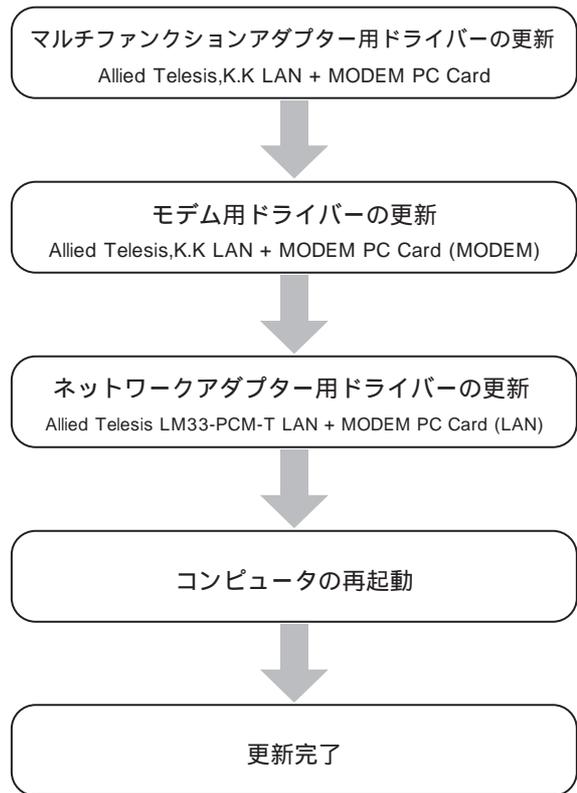


図 1.3.13 モデムのプロパティ

#### 1.4 ドライバーの更新

弊社のホームページなどから最新のドライバーを入手したときや、Windows95からWindows98にアップグレードしたときは、以下の手順にしたがってドライバーの更新を行います。

本製品のドライバーを更新するには、「マルチファンクションアダプタ」、「モデム」、「ネットワークアダプタ」のそれぞれについて、更新手順を実行する必要があります。ここでは、おもにマルチファンクションアダプター用ドライバーの更新手順を例に説明していますが、「マルチファンクションアダプタ」用ドライバーの更新完了後、「モデム」と「ネットワークアダプタ」についても忘れずに更新手順を実行して



ください。ダイアログ等に表示されるデバイスの名前が異なる点を除き、手順はどれもほぼ共通です。

##### 1. マルチファンクションアダプター用ドライバーの更新

- (1) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入してください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。「マルチファンクションアダプタ」アイコンをダブルクリックし、その下に表示される「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



図 1.4.1

- (3) 「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」のプロパティダイアログが表示されます。「ドライバ」タブを

選択し、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。



図1.4.2

- (4) 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。「次へ>」ボタンをクリックしてください。

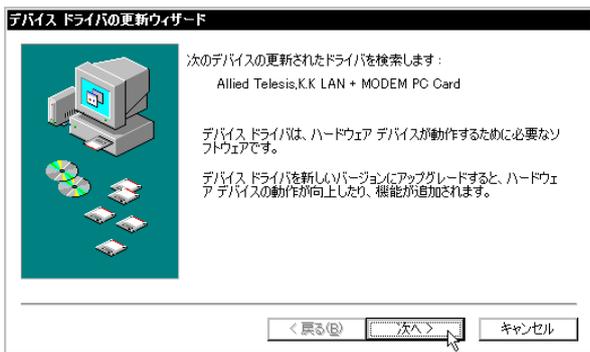


図1.4.3

- (5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

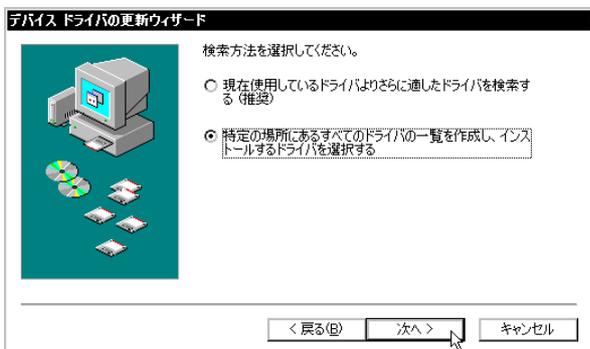


図1.4.4

- (6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックします。この画面は図1.4.7とよく似ているので、混同しないようにご注意ください。



図1.4.5

- (7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、次のダイアログで「A:¥windows.98」(PC-9800/9821では「B:¥windows.98」と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

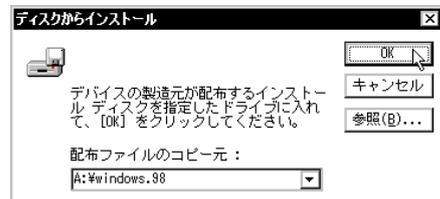


図1.4.6

- (8) Windows98によってドライバーディスクが検索され、次のダイアログが表示されます。「次へ>」ボタンをクリックしてください。図1.4.8の画面に切り替わるまで若干時間がかかります。そのまましばらくお待ちください(1~2分)。



図1.4.7

- (9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:¥WINDOWS.98¥LM33MF.INF」(PC-9800/9821では「B:¥WINDOWS.98¥LM33MF.INF」となっていることを確認し、「次へ>」ボタンをクリックしてください(8ページの表1.4.1もご覧ください)。

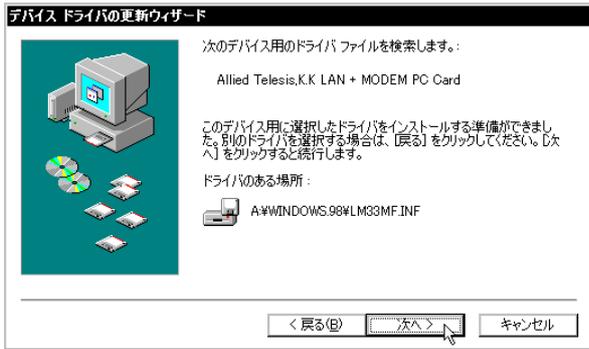


図1.4.8

(10) CD-ROMの挿入を要求するダイアログが表示される場合は、「1.2 ドライバの新規インストール」の手順(5)を参考にしてください。

(11) 前記のINFファイルが、ドライバーディスクからハードディスクにコピーされます。ネットワークアダプター用ドライバーの更新時には、本製品のドライバーと、ネットワークを使用するために必要なWindows98のファイルも同時にコピーされます。

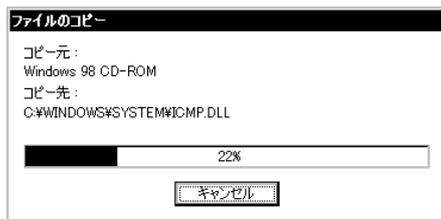


図1.4.9

(12) 次のダイアログが表示されたら、「完了」をクリックしてください。

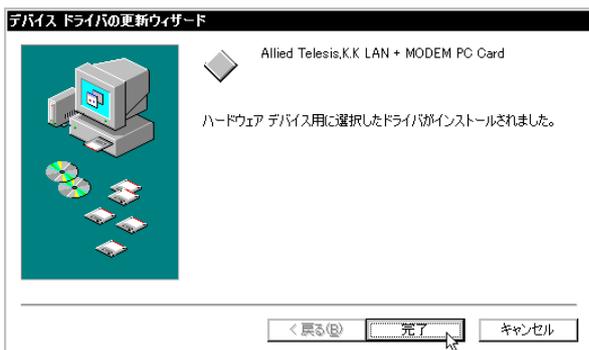


図1.4.10

(13) 「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Cardのプロパティ」ダイアログ(図 1.4.2)を閉じ、「デバイスマネージャ」に戻ります。

## 2. モデム用ドライバーの更新

(1) 続いてモデム用ドライバーの更新を行います。「デバイスマネージャ」の「モデム」アイコンをダブルクリックし、その下に表示される「Allied Telesis,K.K LAN +

MODEM PC Card (MODEM)」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



図1.4.11

(2) 「1. マルチファンクションアダプター用ドライバーの更新」の手順(3)～(13)にしたがって、モデム用ドライバーの更新を行ってください。その際、文中および画面写真中の「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」を、「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card (MODEM)」に置き換えてお読みください。また、7ページの手順(9)で「ドライバのある場所」に表示されるINFファイルのパスは次のようになります(ここでは、フロッピードライブを「A:」と仮定します)。

マルチファンクションアダプタ	A:\WINDOWS.98\LM33MF.INF
モデム	A:\WINDOWS.98\MDMLM33.INF
ネットワークアダプタ	A:\WINDOWS.98\NETLM33.INF

表1.4.1 ドライバのある場所

## 3. ネットワークアダプター用ドライバーの更新

(1) 最後にネットワークアダプター用ドライバーの更新を行います。「デバイスマネージャ」の「ネットワークアダプタ」アイコンをダブルクリックし、その下に表示される「Allied Telesis LM33-PCM-T LAN + MODEM PC Card (LAN)」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



図1.4.12

- (2) 「1. マルチファンクションアダプター用ドライバーの更新」の手順(3)～(12)にしたがって、ネットワークアダプター用ドライバーの更新を行ってください。その際、文中および画面写真中の「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」を、「Allied Telesis LM33-PCMT LAN + MODEM PC Card (LAN)」に置き換えてお読みください。

また、7ページの手順(9)で「ドライバのある場所」に表示されるINFファイルのパスは、表1.4.1の通りとなります。

- (3) ネットワークアダプター用ドライバーの更新が完了すると、次のダイアログが表示されます。フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックして、Windows98を再起動してください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

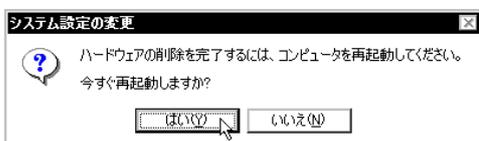


図1.4.13

## 2 活線挿抜に関するご注意

### 2.1 PCカードの挿入

Windows98は活線挿抜をサポートしているため、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットに挿入することができます。

- (1) 「CentreCOM LM33-PCM-T LAN+FAX / MODEM PC Card」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入し、手応えがあるまで押し込んでください。



警告

コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PCカードの装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品をPCカードスロットに挿入すると、Windows98はPlug & Play機能により本製品を検出します。
- (3) 「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」を表示させると(「コントロールパネル」 「PCカード(PCMCIA)」)、「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」の名前が表示されます(図1.3.10参照)。

### 2.2 PCカードの取り外し

Windows98は活線挿抜をサポートしているため、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



警告

以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows98ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークアプリケーション(WWWブラウザ、Telnetクライアントなど)やモデムを使用するアプリケーション(通信ソフトなど)をすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。
- (2) タスクバーのPCカードアイコン(通常デスクトップ右下)をクリックします。



図2.2.1 PCカードアイコン

- (3) 「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card の中止」バーが表示されたらバーをクリックしてください。



図2.2.2

- (4) 次のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてください。



図2.2.3

- (5) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。



警告

メディアモジュールを引っ張ってPCカードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアモジュールの故障の原因となります。

## 3 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



以下の手順は、本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けた状態で行ってください。

### 3.1 本製品を認識しない

「1.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、本製品のアイコン(「Allied Telesis LM33-PCM-T LAN + MODEM PC Card (LAN)」、 「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」、 「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card (MODEM)」)の表示が次のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- 1 正常にインストールできない
- 2 本製品が検出されない
- 3 「ネットワークアダプタ」、「マルチファンクションアダプタ」、「モデム」の項目がない
- 4 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- 5 デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く



「3」や「4」のような障害は、ドライバーのインストール中に行われるWindows98関連ファイル(netapi.dllなど)のインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

このようなときは、ドライバーをいったん削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた本製品の「マルチファンクションアダプタ」アイコン(「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」)を選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。



本製品の「モデム」や「ネットワークアダプタ」を単独で削除することはできません。「デバイスマネージャ」でこれらを削除しようとすると、図3.1.1のようなダイアログが表示されます。その場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。本製品のドライバーを削除したいときは、親デバイスの「マルチファンクションアダプタ」(「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」)を削除してください。これにより、マルチファンクションアダプタに含

まれるすべてのデバイスが削除されます  
(注：11ページの手順(5)もご覧ください)。



図3.1.1 モデムを削除しようとする...

- (2) 次のようなダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。



図3.1.2 デバイス削除の確認

- (3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

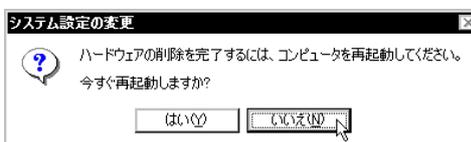


図3.1.3

- (4) 「ネットワークアダプタ」、「マルチファンクションアダプタ」、「モデム」の下から(これらのアイコンの下に本製品しか項目がなかった場合は、これらのアイコンも表示されなくなります)本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。



図3.1.4 削除後のデバイスマネージャ

- (5) 「コントロールパネル」の「モデム」アイコンをダブルクリックしてください。本製品以外にモデムをインストールしていない場合、ドライバーの削除が正しく行われていれば、「新しいモデムのインストール」ダイアログが表示されます。この場合は、「キャンセル」ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。



図3.1.5

「モデムのプロパティ」ダイアログ(図3.1.6)が表示された場合は、「次のモデムがセットアップされています」の下に本製品の名前が表示されているかどうかを確認してください。

**本製品の名前が表示されていない場合** (本製品以外のモデムをインストールしていた場合など)、ドライバーの削除は正しく行われています。「OK」ボタンをクリックして、「モデムのプロパティ」ダイアログを閉じてください。

**本製品の名前が表示されている場合**、「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card (MODEM)」を選択して、「削除」ボタンをクリックしてください。画面から本製品の名前が消えたことを確認したら、「閉じる」ボタンをクリックして、「モデムのプロパティ」ダイアログを閉じてください。



図3.1.6

- (6) Windows98を終了し(「スタート」 「Windowsの終了」 「電源を切れる状態にする」)、コンピュータの電源をオフにします。

- (7) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。
- (8) 「1.2 ドライバーの新規インストール」の手順を参考に、本製品のドライバーを再インストールします。



注意

いったん本製品のドライバーをインストールすると、ドライバーに関する情報がシステムに保存されます。そのため、ドライバーを削除してから再インストールを行う時には一部のダイアログが表示されないことがあります。その場合は画面の指示にしたがってください。

### 3.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く

デバイスマネージャで本製品のアイコン(「Allied Telesis LM33-PCM-T LAN + MODEM PC Card (LAN)」、 「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card」、 「Allied Telesis,K.K LAN + MODEM PC Card (MODEM) 」)に「x」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 本製品のアイコンを選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図1.3.1～図1.3.6参照)。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

### 3.3 PCMCIAコントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIAコントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIAコントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



警告

ご使用のコンピュータのPCMCIAコントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順でPCMCIAコントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後(下記参照)、以下の手順を実行してください。



このようなときは、Windows98のシステムリソースレポート出力機能を利用すると便利です。レポートを出力するには、「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進み、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシス

テムの概要」を選択し、以後画面の指示にしたがってください。



ご使用のコンピュータがCardBus対応の機種である場合、使用するPCカードに応じて2種類(16bit/32bit)のPCMCIAコントローラを切り替えなければならないものがありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルでご確認ください。

「1.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIAソケット」の下に表示されるPCMCIAコントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2) 「PCMCIAソケット」の下にあるPCMCIAコントローラを選択し、「削除」をクリックしてください。
- (3) 「デバイス 削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。
- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIAソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows98を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品をPCカードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PCカード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。
- (7) 「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ>」をクリックしてください(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります)。
- (8) 「はい(通常はこちらを選んでください)」を選択し、続く2つの質問に対して「次へ>」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

### 3.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マーク

が付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Playに対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows98にあらかじめ登録(「予約」と呼びます)し、その値が他のPlug & Play対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないよう設定することで、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細については、その拡張アダプターのマニュアルをご覧になるか、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。以後、画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

## 4 ネットワーク機能のトラブル

ネットワークアダプターによる通信ができない場合は、「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

### 4.1 LINK LEDは点灯していますか?

LINK LEDは、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLINK LEDが点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブの機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあります。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」

に設定しなければなりません(通常のハブのポートとして設定する)。

- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに問題はありますか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいので、他のケーブルに交換してテストしてみてください。
- ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。

## 4.2 LINK LEDは点灯しているが...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合は、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか？ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。
- 正しいUTPケーブルを使用していますか？10BASE-Tでは「カテゴリー3」以上のUTPケーブルを使用しないでください。
- UTPケーブルに問題はありますか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいので、他のケーブルに交換してテストしてみてください。

## 4.3 モデム機能を同時に使用していませんか？

本製品のネットワークアダプター機能を使用中にエラーが発生した場合は、本製品のモデム機能を同時に使用していないかどうかを確認してください。Windows98では、本製品のネットワークアダプター機能とモデム機能を同時に使用することはできません。ネットワークアダプター機能を使用する場合は、モデムを使用するアプリケーション(通信ソフトなど)を終了させておいてください。

## 4.4 ハードウェア診断プログラムご使用上の注意

本製品のドライバーディスクには、ネットワークアダプターのハードウェア診断プログラム、「DIAGAT.EXE」(AT互換機能)と「DIAG98.EXE」(PC-9800/9821用)が収録されています。本製品のネットワーク機能を使用中に障害が起こった場合や、本製品のネットワーク機能が正常に動作するかどうかを確認したい場合にご利用ください。ここでは、Windows98のもとで診断プログラムを使用する際の注意点について説明します。診断プログラムの詳細については、「CentreCOM LM33-PCM-Tユーザーズマニュアル」の「付録A トラブルシューティング」の「2 ネットワークアダプター機能のトラブル」をご覧ください。

- (1) コンピュータの電源をオフにした状態で、本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入し、ネットワークに接続してください。
- (2) 「Ctrl」キー(または「F8」キー)を押しながら、コンピュータの電源をオンにします。
- (3) 「Microsoft Windows 98 Startup Menu」(PC-9800/9821では「Microsoft Windows 98 起動メニュー」)が表示されたら「Ctrl」キーを離し、カーソルキーの「↓」で「Command prompt only」(PC-9800/9821では「コマンドプロンプトのみ」)を選択して、「Enter」キーを押してください。
- (4) 「CentreCOM LM33-PCM-Tユーザーズマニュアル」の「付録A トラブルシューティング」の「2.2 テストの手順」の手順(4)にお進みください。



注意

「DIAGAT.EXE」と「DIAG98.EXE」は、Windows98の中から起動された「MS-DOSプロンプト」上では正常に動作しません。必ず「Command prompt only」(または「コマンドプロンプトのみ」)モードで実行してください。また、「Command prompt only」を選択した場合でも、EMSやUMBの設定状況、IRQ等の使用状況によっては正しい診断が行えないこともありますのでご注意ください。詳細については、「CentreCOM LM33-PCM-Tユーザーズマニュアル」の「付録A トラブルシューティング」の「2.3 DIAGAT.EXE・DIAG98.EXEのオプション」をご覧ください。

## 5 モデム機能のトラブル

モデムによる通信がうまくいかない場合は、以下のことを確認してください。

### 5.1 ネットワーク機能を同時に使用していませんか？

本製品のモデム機能を使用中にエラーが発生した場合は、本製品のネットワークアダプター機能を同時に使用していないかどうかを確認してください。Windows98では、本製品のネットワークアダプター機能とモデム機能を同時に使用することはできません。モデム機能を使用するときは、ネットワークアダプター用のメディアモジュールを取り外しておくか、メディアモジュールからUTPケーブルを抜いておくことをおすすめします。

### 5.2 その他のトラブル

ネットワーク機能を同時使用していないにもかかわらず、モデムがうまく動作しない場合は、「CentreCOM LM33-PCM-Tユーザーズマニュアル」の「付録A トラブルシューティング」の「3.2 トラブルの原因と対応」をご覧ください。さまざまなトラブルの原因と対策が記載されています。

### 5.3 モデムのテスト機能

本製品にはモデムのテスト機能が内蔵されています。詳細については、「CentreCOM LM33-PCM-Tユーザーズマニュアル」の「付録A トラブルシューティング」の「3.1 テスト機能」をご覧ください。

## 6 Windows98での制限事項

Windows98上では、本製品のネットワークアダプター機能とモデム機能を同時に使用することはできません。同時に使用した場合、両方の機能が停止するおそれがありますのでご注意ください。

ネットワークアダプター機能とモデム機能を個別に使用する分には問題ありませんので、モデム機能を使用する場合は、ネットワークアダプター用のメディアモジュールを取り外しておくか、メディアモジュールからUTPケーブルを抜いておくことをおすすめします。また、ネットワークアダプター機能を使用する場合は、モデムを使用するアプリケーション(通信ソフト等)を終了させておいてください。

両機能を同時使用したためにエラーが発生した場合は、いったんWindows98を終了し、コンピュータを再起動してください。

## ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

(C)1998 アライドテレシス株式会社

## 商標について

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

## マニュアルバージョン

1998年07月30日 Rev.A 初版